

第 180 回 山行記 達磨山（子達磨山、達磨山、金冠山）2024/2/26



令和 6 年 2 月は伊豆の達磨山になりました。名前の由来は山が座禅した達磨大師に似ているとか、由比・清水方面から見るとダルマさんの姿に見え滑っても転んでもすぐ起き上がる山とかいくつか説があるようです。達磨山山行の見どころは山頂からの富士山と駿河湾の壮大なパノラマの一望を楽しめるところにあります。10 日前頃から当日までの現地の天気予報は雨が続き予定当日は降雪予報もあり山行中止もあり得るか！その後3日前までは相変わらずの予報でしたが、一晩明けた 2 日前から曇りに変わり、さらに当日は風もない晴れになり絶好の冬の登山日和になりました。バスが 5:50 谷津船橋 IC から湾岸高速に入って数分後、ライトアップされたディズニールランド越しに富士山が見え、新東名高速に入ってから冠雪の富士山がはっきり見えてきました。途中足柄 SA で休憩し 9:10 達磨山登山口の戸田峠に到着しましたが、その時点の山頂方向はガス(霧)がかかっている、上り始めた時はそこを抜けた先には素晴らしい天上の世界が待っているのでは？という気がしました。9:30 登山準備、準備運動を済ませ



登山開始。登山道は両側に熊笹とアセビが群生した急な長い丸木階段を一列になって進みました。



上り始めの登山道は残雪があり動物の足跡があったりして自然を楽しみながらの登山でしたが、徐々に登山道は雪解け水と泥でぬかるんだ道になり縁を歩いたりやむなく泥濘に足を突っ込むなどして足元に注意しながら歩きました。10:00 小達磨山を通り過ぎ下る途中からガスが晴れて視界が開け、眼下には砂州と松林でできた自然の防波堤に囲まれた小さくてのんびりした雰囲気の戸田の港町があり、沼津方向を振り返ると雪に覆われた綺麗な富士山が姿を現していました。そのまま階段を下りて西伊豆スカイラインに沿って少し歩きました長い階段の登山道に入り 11:00 達磨山山頂到着しました。山頂からの富士山は少し雲がかかっていましたが空は青く期待通りの絶景で風も心地よく

360 度遮るものが無い見晴らしの良い天上から(上にはなく)の世界が広がり遠くに南アルプスも見えました。記念写真を撮ってから昼食

を摂りましたが山頂は広くはなく腰をかけられる岩場がありましたが全員が座れる数はなかったので立ったまま昼食を摂る方もいました。昼食後下山前に用心のためアイゼン、チェーンスパイクを取り付け 11:30 気を引き締め山頂を出発しドロドロの来た道に戻りました。足元が悪く滑って転んだ方が 2, 3 人いましたが、名前の由来の通りすぐ起き上がり怪我をした方がいなくて何よりでした。13:00 出発地点の戸田峠を通り抜けこの登山で最



も傾斜のある坂を 15 分程上り金冠山に着くと、ここからも山頂から富士山や駿河湾の美しい海岸線が望めました。そこからゴールのだるま山高原レストハウスへ下り 14:15 到着。まずは泥で汚れた



シューズを洗ってから整理体操を済ましレストハウスの中へ。レストハウスからも絶景が広がり日本一の富士山として昭和 14 年ニューヨーク万博に出展された写真はこのレストハウスの展望台から撮影したものと紹介されていました。レストハウスでソフトクリーム、ドリンク、持参したワイン等を楽しみ体を休めてから 15:00 帰路に着き、海老名 SA に寄った後首都高速に入ると渋滞があり予定より 15 分遅れましたが 18:45 谷津船橋 IC 出口に無事到着しました。今回の山行は数日前から天気が心配されましたが、当日は天候に恵まれて青い空、

美しい富士山と駿河湾の素晴らしい眺望が広がり、空と山と海の絶景を歩く登山になりました。皆さんお疲れ様でした。

S.S 記